

## ADPISA 2026年度 シラバス

### ■ 基本情報

科目名	生成AIで変わる情報システム	
科目番号	257	
担当講師	宮川裕之、寺尾敦、村田和義、居駒幹夫、弥生隆明	
分類	選択	
科目総時間	7.5	
対面/OL 日数	1日	

### ■ 科目の説明

授業の概要	生成AIの登場により人工知能の可能性が大きく広がり、ユーザーとの対話を通じて様々な質問に答えたり、創造的な文章を生成する能力を示した。また、社会の多岐にわたる分野での応用が進み、テクノロジーと人間の関係が新たな段階に入っている。本科目では、生成系AIの中身についての解説とともに、生成系AIが広義の情報システムに対してどのようなインパクトを持つのかを、各分野の専門家により解説する。
特色とメリット	本科目は、ChatGPTをはじめとする生成系AIの仕組みと進化を理解し、それが情報システムや社会に与える影響を多角的に考察する社会人向け講座である。情報、経済、経営、認知科学などの視点から専門家が解説を行い、AIの本質を理解するとともに、実務への応用や戦略的な活用方法を探ることができる。生成AIの実践的な活用方法を学ぶことで、業務の効率化だけでなく、新たな価値創出につなげる視点を身につけられるのが大きなメリットである。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成系AIの歴史や仕掛けについて最低限の知識を持つ</li> <li>情報、経済、経営、認知科学といった様々な分野における広義の情報システムに対して、生成系AIがどのようなインパクトを与える可能性があるのかを知る</li> </ul>
受講の前提条件	特になし

### ■ 学習設計（内容と時間の対応）

回	学習内容	時間（分）	種別	備考
1日目 事前学習	<p>【AIの歴史・仕組み（居駒）】動画を視聴し、生成系AIに至る人工知能（AI）の歴史を深層ニューラルネットワークの進化に焦点を当てて理解する。</p> <p>【組織へのインパクト（宮川）】情報システム学入門で学んだDIKS分類を振り返り、自組織でのAI導入に関する「うまくいっている点」と「摩擦が生じている点」を整理する（AIチューター）</p>	70	動画視聴+AIチューター	
1日目	<p>【情報分野へのインパクト1】2025年以降に普及を始めたAIエージェントが情報システムに与える変化を多角的に学ぶ。 MCP、A2A、Vibeコーディング、マルチエージェント、AIガバナンスなど最新技術を扱い、Databricksを用いたハンズオンで自然言語によるシステム操作を体験する。 開発・分析・運用の民主化や業務変革を理解し、自身の業務への応用やAI時代への向き合い方を考察する。（弥生）</p> <p>【情報分野でのインパクト2】人間とコンピュータのインタフェース部分における生成系AIのインパクト（村田）</p> <p>【組織へのインパクト（宮川）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性能と価値のギャップ — AIの技術的進化が組織の価値に変換されない問題の構造</li> <li>パターンランゲージの考え方 — うまくいく構造を言語化する設計論</li> <li>3つの構造パターン（サンドイッチ構造、選択肢生成、文化のエアロック）</li> <li>まとめ：構造が振る舞いを決める</li> </ul> <p>【人間に対するインパクト】生成系AIによる人間の認知</p>	360	対面	
1日目 事後学習	<p>【組織へのインパクト（宮川）】事前学習で挙げた自組織の業務に3つの構造パターンを当てはめ、最も必要なパターンとその理由を整理する</p>	20		
合計		450		

### ■ 参考文献

参考文献・オンライン科目	弥生隆明,他:「MLflowで実践するLLMOps」技術評論社, 2026
--------------	---------------------------------------